

2月 活動報告書



月曜日と火曜日は、授業のあとにバレーのクラスを受けることができます。バレーのクラスは、私の学校生活の中で特に楽しい時間の一つです。中学でのバレー経験を活かし、エクアドルというエクアドルオリジナルのバレーを他の学年の子たちとプレイしています。先生の指示が理解できず戸惑うことはありますが、みんな優しいのでジェスチャーなどで教えてくれるので助かっています。

家族と日本食を食べに行きました。寿司も日本のとは違いますが、とても美味しかったです。シスターが頼んでいたラーメンは、もやしの代わりなのか人参トッピングで見た目は綺麗でした。日本のラーメンが恋しいです。



エクアドルのバレンタインデーは、私にとって特別な思い出が詰まった日でした。一般的にチョコレートが贈られることが多い日本ですが、ここでは手紙や花が主な贈り物とされています。特に、友達がアヒルをもらっていたことが印象に残っています。ユニークなプレゼントですね。また、学校では他の学年の生徒たちがギターを持ってきて、弾き語りをしてくれるという楽しいイベントもありました。彼らの演奏に合わせて、みんなで歌ったり踊ったりして盛り上がる中、私はその曲を知らなかったため歌えませんでした。周りの友達が楽しそうに歌っている姿を見て、良いイベントだなと思いました。面白いと感じたのが、パートナーがいる人は赤、彼氏彼女が欲しい人は黄色、1人で十分と思う人は緑の服を着てくるということです。見せびらかすように赤を着ている人もいれば、黒や青と関係ない色の服を着てる人もいました。



ホストマザーの母が以前ホストしていたデンマークの女性が親子で里帰りをしていました。そして彼らとキロトア湖に行きました。キロトア湖(Quilotoa)は、エクアドルの高地に位置する美しい火山湖で、標高約3,900メートルにあります。この湖は、キロトア火山の噴火によって形成されたカルデラの中にあり、その水は鮮やかなエメラルドグリーンから青色に変化することで知られています。湖の色は、湖底の鉱物や水の深さによって変わるため、訪れるたびに異なる景色を楽しむことができます。すっごく寒いのですが、下に降りるまでのハイキングコースでみんな汗だくになりました。下では、湖のなかでボートを漕ぐことができます。復路では所々に馬がいて10ドル払うと上まで乗せてくれます。私達はそんな誘惑に負けず、最後まで歩き切りました。



学校で避難訓練がありました。日本の避難訓練の重要性とその徹底ぶりには、感心させられました。特に、日本は地震や津波、台風などの自然災害が頻繁に発生する国であるため、避難訓練は非常に重要ですが、ここは自然災害は少ないのであまり重要視されていないのかなと感じます。





2月の最後には、学校でカーニバルがありました。(本当は3月1日~4日の期間行われます。)クラスごとにダンスを披露したり、仮装コンテストや泡を掛け合ったりしました。このカーニバルは、キリスト教の四旬節の前に行われるもので、色とりどりの衣装やパレード、音楽、ダンスが特徴です。期間中、至るところに泡のスプレーや色がついた粉が売られています。道端にも小麦粉や卵が投げられた痕跡がありました。すごく楽しかったので日本でもやりたいです。



